



クリーンアップ。

ひぬま

Vol.31
2015.3

<http://www.hinuma-network.jp>

ネットワークだより

第14回 ひぬま環境フォーラムを開催しました

平成26年11月16日(日)、いこいの村瀬沼において、「第14回ひぬま環境フォーラム」を開催しました。

【第1部】では、平成26年度瀬沼水質浄化ポスター、第8回ひぬまフォトコンテスト、水質浄化活動功労者の表彰式を行いました。

水質浄化ポスター24名、フォトコンテスト11名とも描写力、表現力に優れ、意欲に溢れた作品に対して、表彰状が授与されました。また、長きにわたり水質浄化活動に熱心に取り組まれ、多くの功績のあった1個人・1団体に対し、水質浄化活動功労者の表彰状が授与されました。

受賞者の皆様おめでとうございます。

今後ますますご活躍されますことを期待しております。



会長あいさつ



表彰式

平成26年度

瀬沼水質浄化ポスター

最優秀賞

笠間市立稲田小6年
河内 嵐至



笠間市立友部中2年
市毛 杏奈



銚田市立徳小3年
斉藤 心美

第8回 ひぬま フォトコンテスト

★各部門の入賞作品は、クリーンアップひぬまネットワークホームページからご覧いただけます。

未来に残したい瀬沼の素敵な風景をご紹介します。



最優秀賞「ダブル筑波の落陽」
竹内 治(水戸市)



「二ツ」賞「朝もや」
深作 正(大洗町)

平成26年度

瀬沼水質浄化活動功労者 (個人・団体)

佐藤 信 (茨城町)

「茨城町水と自然を守る会」設立と同時に入会。高等学校化学教諭の経験を生かし、瀬沼流入河川の水質調査を開始、会員の指導にあたる。

平成11年から、瀬沼の湖上調査を実施、瀬沼について理解を深めるため、一般の参加者を含め、環境教育の一環として、平成23年からは、茨城東高等学校と連携し、水質調査の実施指導にあたる。さらに、町内にとどまらず、瀬沼流域市町村の水質検査研修指導も行ってきた。

関東セキスイハイム工業株式会社 (笠間市)

平成18年度より毎年、自然保護活動の一環として「こども自然塾」を主催。地元の小学校より生徒の参加者を募り、瀬沼川流域(二反田川)における啓発活動(水質調査、川の生き物観察、外部より講師を招いての講義等)を継続的に実施している。

また、工場敷地周辺のごみ拾い等、流域の環境向上のため積極的に活動している。

第2部 講演会「ラムサール条約と涸沼の環境について学ぼう ー涸沼ラムサール条約の登録を目指してー」

第14回ひぬま環境フォーラムの【第2部】水質浄化啓発講演会では、環境省関東地方環境事務所野生生物課の鈴木真野様から「ラムサール条約とはなにか」と題して、ラムサール条約について分かりやすく説明していただきました。ラムサール条約の目的や登録要件などの基本をおさらいするとともに、登録後の保全についても、流域の私たちがしっかり取り組む必要があることなどを知ることができました。

茨城大学大学院の小笠原武仁様、鈴木彩斗美様、小林賢司様から「涸沼っつの



水質浄化啓発講演会②

未知知るべ」と「ラムサール条約は涸沼の湖面に
いかに映っているのかー意識調査の速報ー」と

題して、涸沼に関する案内看板の検討結果や住民アンケート調査結果について報告していただきました。初めて涸沼に来られた方でも分かりやすい看板の設置場所の提案があったほか、アンケートでは、ラムサール条約登録に賛成が多い一方、内容については知らない人が多いとのことでした。登録に向けて、より一層涸沼を思い、涸沼に目を向けていくことが大切だと感じました。



水質浄化啓発講演会①

涸沼のラムサール条約の登録に向けて!! 第2回

なぜ涸沼でラムサール条約に登録するのか?

前回30号ではラムサール条約とはなにかについて説明しましたが、今回は、なぜ涸沼でラムサール条約に登録するのかを説明します。

まず、涸沼をラムサール条約に登録するためには3つの要件を満たす必要があります。

①国際的に重要な湿地であること。

9つの基準（下図）のいずれかを満たす必要があります。涸沼の場合は基準2と基準6を満たしています。

基準2：ヒスマイトトンボ（国のレッドデータブック絶滅危惧ⅠB類）が生息しています。

基準6：世界中のスズガモの1%以上が涸沼で越冬します。

②国の法律により将来にわたり自然環境の保全が図られること。

平成26年11月から涸沼は国指定鳥獣保護区に指定されました。

③地元住民から登録への賛意が得られること。

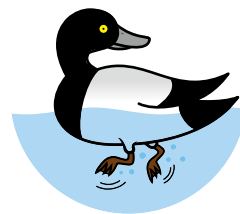
平成26年8月に涸沼ラムサール条約登録推進協議会が設置され、茨城県や各市町、各団体が一体となって登録を目指し、涸沼の自然環境保全とワイズユース（賢明な利用）について協議しています。

ラムサール条約の登録はもちろん水鳥の保全、涸沼の環境保全の促進ですが、イメージアップによる地域振興にもつながるのではと期待されています。

涸沼のラムサール条約の登録は平成27年6月のウグアイで採択される見込みです。

登録によって、涸沼の環境保全が進み、人や鳥、街が賑わうように皆さんで盛り上げていきましょう！

ラムサール条約登録で、
もっと住みやすくなると
いいな～



基準1	特定の生物地理区を代表するタイプの湿地、又は希少なタイプの湿地
基準2	絶滅のおそれのある種や群集を支えている湿地
基準3	生物地理区における生物多様性の維持に重要な動植物を支えている湿地
基準4	動植物のライフサイクルの重要な段階を支えている湿地。または悪条件の期間中に動植物の避難場所となる湿地
基準5	定期的に2万羽以上の水鳥を支える湿地
基準6	水鳥の1種または1亜種の個体群で、個体数の1%以上を定期的に支えている湿地
基準7	固有な魚類の亜種、種、科の相当な割合を支えている湿地。また湿地というものの価値を代表するような、魚類の生活史の諸段階や、種間相互作用、個体群を支え、それによって世界の生物多様性に貢献するような湿地
基準8	魚類の食物源、産卵場、稚魚の生息場として重要な湿地。あるいは湿地内外における漁業資源の重要な回遊経路となっている湿地
基準9	湿地に依存する鳥類に分類されない動物の種及び亜種の個体群で、その個体群の1パーセントを定期的に支えている湿地

Q1. ラムサール条約の締約国数はいくつ？（平成26年4月現在）

A1. 168か国です。

クリーンアップひぬまネットワーク会員だより

新しく「クリーンアップひぬまネットワーク」会員になられた方をご紹介します。

茨城町の涸沼流域は、水辺の環境と豊富な自然に恵まれた資源も多く現在している所で、私たちは沢山の恩恵を受けて暮らしています。そして涸沼は貴重な汽水湖で美しい景観・地域の宝であると感じています。今、ラムサール条約登録地を視野に入れ各環境団体、文化団体が密接に関連している町の歴史を紐解きながら環境保全事業・啓発などの活動をしています。

茨城町自然観察クラブは、県環境アドバイザーの山口萬壽美氏を講師に、人と鳥との共存を目指す事を趣旨として会員相互の親睦を深め向上心を高めるために、月1回、涸沼を中心とした野鳥観察会を行っています。生息する野鳥、水辺の鳥の種類と個体数を把握し、経年変化の記録を継続しています。昨年は、ラムサール条約に向けてひとつのきっかけとなる講演会を開催しました。この講演会は、涸沼の絶滅危惧種である貴重な昆虫「ヒヌマイトトンボ」の発見者、廣瀬誠氏を招き、生態系・生物多様性の保全について意義深い勉強会を行いました。地域の人々の認識も新たになり涸沼に目を向け続け、意識を高めていくことが豊かな心をつくります。町の大きな財産として次世代に引き継ぐ役割が私たちにあると感じています。

また、観察会を重ねて実施していくうちに、涸沼周辺の環境が年々悪化していることを痛切に感じるようになり、環境保全、ボランティア活動と地域の人々との交流の場と考えて、クリーンアップひぬまネットワークに入会を希望いたしました。よろしくお願いいたします。



野鳥観察会の様子

～ 平成26年度 ひぬま流域ウォッチングを開催しました ～

平成27年1月31日(土)、涸沼の親沢公園周辺の湖岸において、野鳥観察会を行いました。前日は雪が降り、天候が心配でしたが、当日は、朝から快晴になり、野鳥観察日和になりました。

参加者は、講師の先生のお話を聞きながら、双眼鏡やフィールドスコープを使って熱心に野鳥を観察していました。

空にはコブハクチョウやトビが、湖内水面にはマガモやカルガモ、スズガモが見られるなど、約1時間30分の観察時間中に、合計39種類もの野鳥を観察することができました。

あらためて涸沼の自然の豊かさを感じるとともに、この自然環境を守っていかなければならないと強く感じました。



野鳥観察の様子



第9回 ひぬまフォトコンテスト作品募集のお知らせ

クリーンアップひぬまネットワークでは、自然に親しみ、水質浄化や自然保護に対する意識を高めることを目的に、涸沼流域の自然や日常の風景などを題材とした写真作品を募集しております。

涸沼流域の自然や人々の暮らし等、あなたが未来に残したい涸沼の風景を、写真を通して表現してみませんか。たくさんのご応募をお待ちしております。

応募規定

- ・作品のテーマは、涸沼流域の①自然風景、②動植物、③人々の暮らし等です。
- ・作品は、カラー4切・ワイド4切・A4サイズとします。(※インクジェットによるプリント可)
(ただし、高校生以下は、2Lサイズからの応募が可能です。)
- ・応募は、1人10点以内とします。(各作品の裏面に応募用紙を貼付願います。)
- ・最優秀賞1点、優秀賞2点以内、優良賞5点以内、奨励賞2点以内、ニコン賞1点を選定し、表彰する予定です。(表彰式は、平成27年11月に行う予定です。)

応募締切：平成27年9月30日(水) ※当日消印有効



※応募の詳細及び応募用紙については、ホームページ (<http://www.hinuma-network.jp>) をご覧ください。

Q2. 涸沼の水質はどれくらい? A2. CODとして平成25年度は5.9mg/Lと、10年前の6.8mg/Lから0.9mg/L改善しています。

賛助金のご協力ありがとうございました

ネットワーク活動の充実を図るため、事業所及び団体会員の皆様に賛助金（1口：10,000円）のご協力をお願いしましたところ、30事業所・団体様から合計300,000円のご協力をいただきました。誠にありがとうございます。

今回ご協力いただきました賛助金は、啓発物品（ボールペン・クリアファイル：右写真）の作成に充てさせていただきました。厚く御礼申し上げます。

今後も瀬沼の水質浄化活動を実践してまいりますので、引き続きご理解、ご協力をお願い申し上げます。



（ボールペンとクリアファイル）

あさ川製菓株式会社

常陽銀行 公務部

稲田石材商工業協同組合

株式会社タカタ

財団法人茨城県環境保全事業団

日東電気株式会社

笠間工芸の丘株式会社

茨城町商工会

水戸農業協同組合

一般社団法人水戸観光協会

株式会社ニコン水戸製作所

有限会社井戸ライフ

イオンリテール株式会社イオン笠間店

板橋精機株式会社岩間工場

株式会社茨城県中央食肉公社

公益財団法人茨城県開発公社いこいの村酒沼

水戸市常澄商工会

水戸市内原商工会

公益社団法人茨城県畜産協会

一般社団法人笠間観光協会

株式会社山新

関東セキスイハイム工業株式会社

日本たばこ産業株式会社友部工場

八幡碎石工業株式会社茨城工場

公益社団法人茨城県農林振興公社

株式会社さしる

笠間市商工会

大洗町商工会

茨城旭村農業協同組合

茨城県生活協同組合連合会

（※順不同）

読者プレゼントクイズ

1	7	8	2		3		5	□
				7	9	1	8	3
6	3	9	8		5		4	
		3	4				1	
	6			□		4		
4		2				3		□
	9				2		3	
3		□	7		4		6	
8	4	6	3		1		2	5

☆文字が隠れています。分かりますか？☆

「ナンバーナイン」に挑戦

タテの各9列・ヨコの各9行・3マス×3マスの各9ブロックに1から9の数字が重複しないように入ります。4つの □ に入る数字の合計はいくつになるでしょうか。

正解者の中から抽選で10名の方に、図書カード（1,000円分）を、5名の方に、「オリジナルエコバック」を、プレゼントします。たくさんのご応募をお待ちしております。

【応募方法】

郵便はがきに、「クイズの答え・住所・氏名・電話番号・メッセージ」をご記入のうえ、下記のネットワーク事務局までお送りください。

当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます。

※ 平成27年4月30日（木）の消印有効です。

★前回の解答…ネットワークだよりVol.30ナンバーナインの答えは「31」でした。
たくさんのご応募ありがとうございました。

オリジナルエコバック



読者の声

～みなさまから寄せられたメッセージをご紹介します～

- ◆ 小さい頃のシジミ採りや、美しい夕日を思い出しました。
今できることは、生活水とくに台所で流す時のみなおしをしてゆこうと思います。
- ◆ 瀬沼は主人と人生の思い出に時々出掛けています。
大好きな瀬沼のしじみ、いつでも食べられる様に冷凍しています。
健康＝瀬沼のしじみ 感謝!!
- ◆ ひぬま流域クリーン作戦に参加しました。多くの方々に感謝しつつ自然を大切に、環境問題を真剣に考え実行していきたいと思います。

- ◆ 少しでも水質が良くなればと、瀬沼につながっている石川川の清掃に参加しています。近年では、ほとんどゴミがなくなりました。
- ◆ 今を大切に、子や孫につなげる。そのために、も上・下流側で何をすべきか？自問する私です。

たくさんのメッセージ
ありがとうございました



■ 発行：クリーンアップひぬまネットワーク事務局

〒310-8555 水戸市笠原町978-6（茨城県生活環境部環境対策課内） TEL 029-301-2968